

萩市水道事業ビジョン

「安心・安全な萩の水をいつまでも」



中間評価

案

令和7年度

CONTENTS

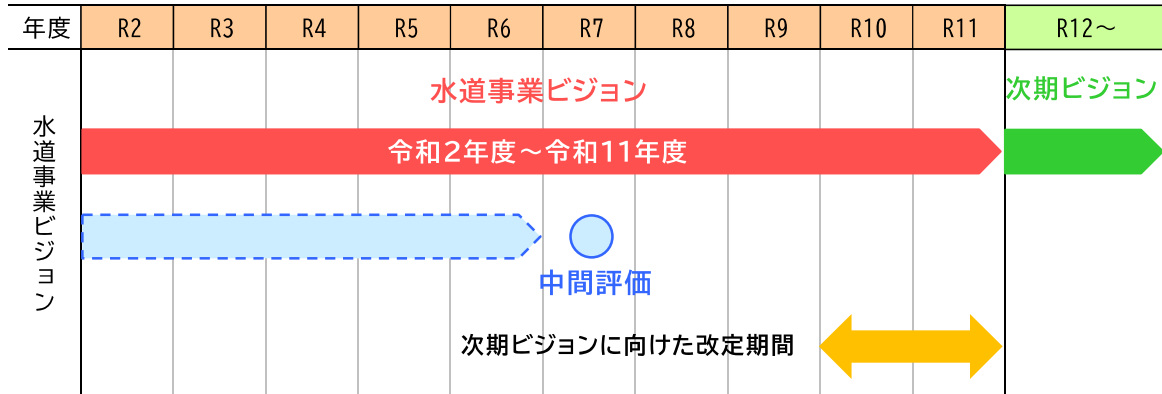
—目次—

中間評価の概要	1
基本理念と重要施策	1
萩市水道事業の現状	2
数値目標の達成状況	3
取り組みの実施状況	6
事業計画の見直し	8
財政計画	8
フォローアップ	1 1
おわりに	1 2

中間評価の概要

萩市水道事業では、平成 22 年 3 月に「萩市水道ビジョン」を策定しました。また、令和 2 年 8 月には「萩市水道事業ビジョン」として見直しを行い、以降、掲げた目標に向けて事業に取り組んでいますが、目標年度の令和 11 年度を控え、中間年度を迎えています。

今回、「萩市水道事業ビジョン」の策定から 5 年を経て、ビジョンにおける施策の実施状況や目標の達成度を整理し、中間評価を行うとともに、必要に応じて計画の見直しを行いました。



基本理念と重要施策

萩市水道事業ビジョンの基本理念と重要施策は、策定時から変更しないものとします。

～安心・安全な萩の水をいつまでも～



次期ビジョンにおける施策(見直し・レベルアップ)

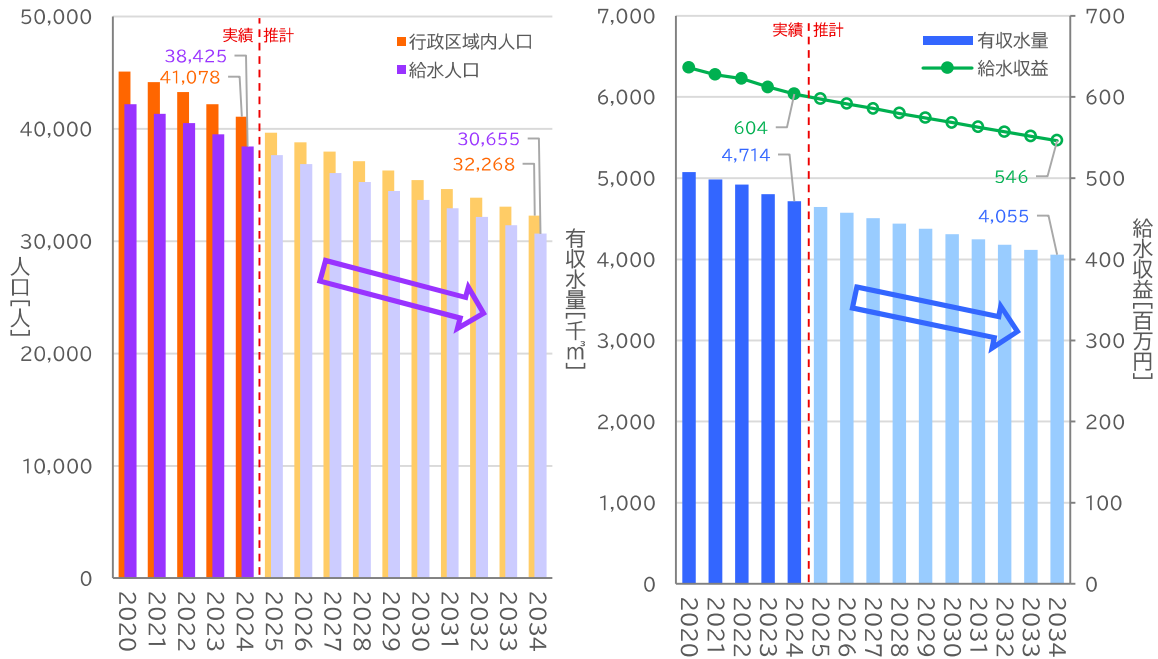
萩市の水道事業経営の3つの重点施策(水道事業ビジョン)

- 安全** 水質事故ゼロを目指し、さらに清浄でおいしい水を供給する水道事業
- 強靱** いつでも豊富な水を供給し、災害に強い水道事業
- 持続** 強固な経営基盤に支持され、効率的な施設維持・更新・レベルアップを行う水道事業

萩市水道事業の現状

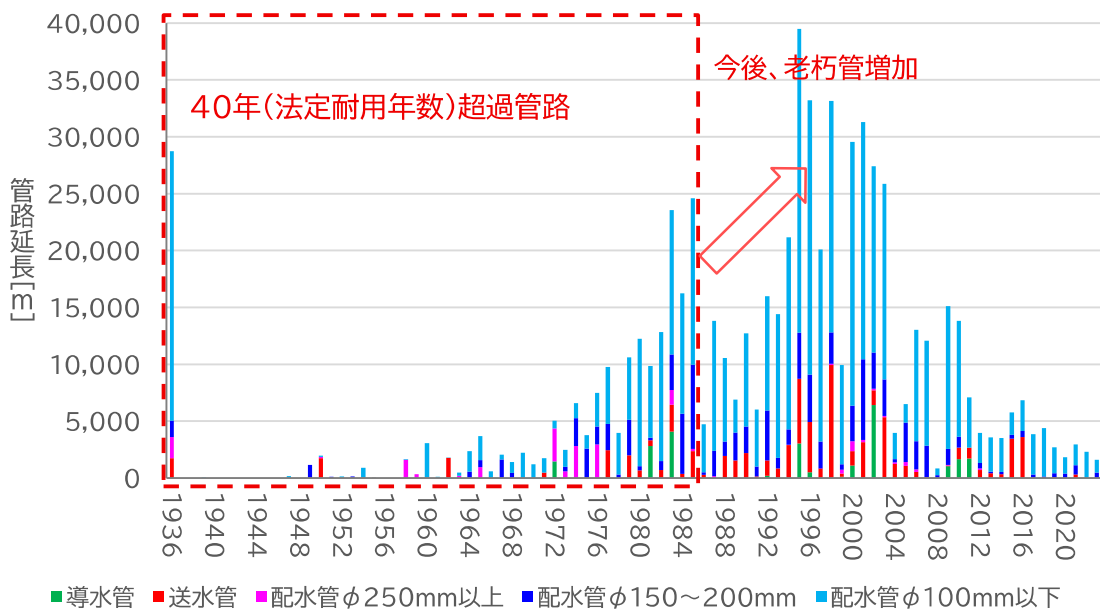
人口減少と水需要の動向

萩市の人口は、2024(令和6)年度時点で41,078人、給水人口は、38,425人です。今後も人口減少が見込まれ、人口減少に伴い、水道事業の料金収入も減少し、厳しい経営状況が続いていきます。



更新需要の増加

水道施設の耐震化や統廃合、管路更新を計画的に進めてきましたが、資産の大半を占める管路については、法定耐用年数の40年を更新基準とした場合、更新需要は年々増加する見込みです。今後は、老朽化に伴う更新需要が増加することから、効率的な事業経営を行い、将来の給水人口や給水収益を見据え、財源の確保に努めることが必要です。



数値目標の達成状況

水道事業ビジョンで掲げた数値目標に対する達成状況とその評価を示します。

安全 水質事故ゼロを目指し、さらに清浄でおいしい水を供給する水道事業

目標 1-①：クリプトスポリジウム対策

クリプトスポリジウム等による断水措置 (PIなし 単位 [-])

項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
クリプト等による断水措置	0	0	0 継続達成	0 変更なし	現状維持

今後も水質管理を徹底し、継続する必要があります。

目標 1-②：鉛製給水管の解消

鉛製給水管率 (PI：A401 単位 [%])

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
鉛製給水管率	26.0	21.0	21.7 概ね達成	16.0 変更なし	≒10ポイント低下

鉛製給水管は、配水管更新や漏水修繕に合わせて更新しており、今後も継続することで目標達成できる見込みです。

目標 1-③：水源の保全

水源の水質事故数 (PI：A301 単位 [件])

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
水源の水質事故数	0	0	0 継続達成	0 変更なし	現状維持

今後も水質管理を徹底し、継続する必要があります。

強靱 いつでも豊富な水を供給し、災害に強い水道事業

目標 2-①：安定した水の供給

幹線管路の事故割合、管路の事故割合（PI：B205、B204 単位ともに [件/100km]）

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
基幹管路の 事故割合	0	0	0 継続達成	0 変更なし	現状維持
管路の 事故割合	0	0	5.8 未達成	0 変更なし	現状維持

今後も計画的な更新により漏水などの事故件数を減らす必要があります。

目標 2-②：震災対策の状況

配水池耐震施設率、管路・基幹管路の耐震化率（PI：B604、B605、B606 単位ともに [%]）

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
配水池 耐震施設率	4.7	37.4	4.7 未達成	37.4 見直し	耐震化 (更新)
管路の 耐震化率	11.6	14.3	14.0 概ね達成	17.6 変更なし	耐震化 (更新)
基幹管路の 耐震化率	21.4	25.5	21.8 未達成	25.1 見直し	耐震化 (更新)

配水池の耐震施設率は、中津江配水池の供用開始により、中間目標を達成します。但し、事業の遅れが発生していることから最終目標を見直します。(45.1%→37.4%)

今後も管路の更新を継続する必要があります。基幹管路の耐震化率は、更新事業の実績および国や県など他事業の状況を踏まえて、最終目標を見直します。(基幹管路 32.4%→25.1%)

目標 2-③：災害訓練実施状況

災害対策訓練実施回数（PI：B210 単位 [回/年]）

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
災害対策訓練 実施回数	2	2	2 継続達成	2 変更なし	現状維持

災害対策訓練は、今後も継続する必要があります。

持続 強固な経営基盤に支持され、効率的な施設維持・更新・レベルアップを行う水道事業

目標 3-①：施設維持及び更新の状況

法定耐用年数超過設備率・管路率、漏水率（PI：B502、B503、B110 単位 ともに [%]）

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
法定耐用年数 超過設備率	45.6	50.0	45.1 達成	50.0 変更なし	現状維持
法定耐用年数 超過管路率	14.6	25.4	30.1 未達成	30.5 変更なし	更新による 超過率の抑制
漏水率	18.3	13.3	20.2 未達成	8.3 変更なし	≒10 ポイン ト低下

今後も設備更新および管路更新を計画的に進めるとともに管路の漏水調査を継続する必要があります。

目標 3-②：経営基盤の安定状況

経常収支比率（PI：C102 単位 [%]）

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
経常収支比率	111.9	100%以上	106.5 達成	100%以上 変更なし	現状維持

今後も維持する必要があります。

目標 3-③：建設副産物の有効利用状況

建設副産物のリサイクル率（PI：B306 単位 [%]）

PI 項目名称	当初 平成 29 年度	中間目標 令和 6 年度	現状 令和 6 年度	目標 令和 11 年度	目標の内容
建設副産物の リサイクル率	99.6	99.6	100.0 達成	100.0 見直し	全量有効利 用化

※本指標は、コンクリート及びアスファルトのリサイクル率を指します。

建設副産物全量有効利用化の施策を継続します。令和 6 年度で 100%に達しているため、目標値を見直します。(99.6%→100.0%)

取り組みの実施状況

水道事業ビジョンで掲げた重点施策に対する実現方策の取り組みについて、実施状況とその評価を示します。

安全 水質事故ゼロを目指し、さらに清浄でおいしい水を供給する水道事業

施策と実現方策		取り組みの評価	
		評価	進捗状況
水質管理の強化			
	クリプトスポリジウム等 対策の実施	A	今後も水質監視を継続します。
	鉛製給水管の解消	A	配水管更新や漏水修理に合わせて、鉛製給水管の更新を実施しており、鉛製給水管率も減少しています。今後も継続します。
	水安全計画の策定	完了	3水源の水安全計画を策定済みです。

※評価は、完了、A：計画通り、B：工程見直し、C：内容見直し としました。

強靱 いつでも豊富な水を供給し、災害に強い水道事業

施策と実現方策		取り組みの評価	
		評価	進捗状況
施設・管路の耐震化と更新			
	施設の統廃合を踏まえた 耐震化と更新	B	中津江配水池(耐震)整備中です。 →供用開始が遅れています。 新大井配水池及び新須佐配水池は、次期ビジョンで計画を進めます。
	管路の耐震化と更新	B	基幹管路の事故割合はゼロですが、管路事故割合が増加しています。今後も管路の耐震化や更新を進めていく必要があります。
危機管理体制の強化			
	危機管理マニュアルの見直し や危機事象の拡大	完了	萩市業務継続計画で策定済みです。
	相互応援体制の強化	A	日水協山口県支部で定期的に訓練を実施し、災害対応能力の向上及び連携強化を図っています。また、県や周辺市町との相互応援体制を構築しています。

※評価は、完了、A：計画通り、B：工程見直し、C：内容見直し としました。

持続 強固な経営基盤に支持され、効率的な施設維持・更新・レベルアップを行う水道事業

施策と実現方策		取り組みの評価	
		評価	進捗状況
老朽化施設の更新			
	機械・電気設備の保全	A	計画的に更新を進めていますが、法定耐用年数超過率が増加しています。今後も計画的に更新を継続します。
	管路漏水の抑制	A	管路更新により老朽管路率の増加を抑制していますが、漏水率が減少しません。今後も計画的な管路更新や漏水調査を継続します。
持続可能な事業経営			
	広域監視体制の拡充	A	監視システムの導入を進めており、令和8年度に萩地域を除く全地域にWEB監視を導入予定です。萩地域への導入は、今後検討します。
	健全な事業経営	A	財政計画の検証や進捗管理を行いながら、適正な時期に料金改定の検討、効果的な建設改良事業の投入による有収率の向上を図る必要があります。現在、料金改定時期および改定率の検討を進めています。
	官民連携及び 広域化推進検討	A	R6年度に国土交通省の支援事業「水道事業官民連携等基盤強化支援業務」において、官民連携を進める上で参考となるモデルケースの検討を行いました。また、上下水道事業一体での官民連携の検討を進めています。広域連携は、山口県の推進方針が決定され協議が進められている状況です。
給水サービスの向上			
	適正な水道料金水準の検討	A	配水池整備事業や老朽施設の更新等を踏まえ、物価高騰などの社会情勢も考慮しながら適正な時期を見定め、料金統一及び料金改定を検討する必要があります。現在、改定時期および改定率の検討を進めています。
	情報提供の拡充	A	市報やHPにおいて、運営状況の見える化を図っています。
リサイクルの推進			
	建設副産物の有効利用	A	現状の建設副産物の有効利用を継続します。島嶼部への適応は、今後検討します。

※評価は、完了、A：計画通り、B：工程見直し、C：内容見直し としました。

事業計画の見直し

中間評価結果より、事業の進捗管理を実施しました。

施設の統廃合・耐震化計画や管路の更新・耐震化計画について、事業実施の遅れが発生していることから計画の見直しを行いました。今後は、見直した計画に基づき計画的に事業を進めていきます。

また、人口減少に伴う給水収益の減少や物価上昇、老朽施設の増加による更新需要の増加に伴い、今後の財源の確保が必要となります。業務の効率化や維持管理・建設コストの削減に引き続き取り組むとともに料金改定の時期と改定率について検討を進めていきます。

表 事業のスケジュール

施策	事業概要	R7	R8	R9	R10	R11	R12 以降
安全	クリプト等対策						
	鉛製給水管の解消						
	水安全計画の策定	完了					
強靱	施設の統廃合・耐震化						
	基幹管路の更新・耐震化						
	危機管理マニュアルの見直し	完了					
	相互応援体制の強化						
持続	機械設備の保全						
	管路漏水の抑制						
	広域監視体制の拡充						
	健全な事業経営						
	官民連携及び広域化検討						
	適正な水道料金水準の検討						
	情報提供の拡充						
	建設副産物の有効利用						

財政計画

今回、中間評価の実施にあたり、財政計画に実績値と物価上昇や計画見直しを反映した財政収支シミュレーションを行いました。

現在、収支ギャップの解消に向けて、ビジョンの中間評価の後に料金改定について詳細な検討を進めていきます。

財政計画(～令和11年度)

項目	(単位:千円)											
	決算 H30	決算 R1	決算 R2	決算 R3	決算 R4	決算 R5	決算 R6	将来見通し				
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収益的収入	1,124,243	1,091,994	1,077,581	1,062,285	1,041,867	1,029,424	1,013,121	1,017,256	1,009,643	1,005,257	1,001,448	1,001,887
給水収益(料金収入)	670,651	650,485	636,127	627,340	622,432	612,133	603,606	597,581	591,476	585,753	579,805	574,205
その他営業収益	10,210	13,379	13,709	10,629	7,995	7,302	5,505	6,240	6,000	6,000	6,000	6,000
長期前受金戻入	162,152	161,225	156,319	149,488	143,293	137,414	126,847	121,550	119,217	117,902	114,838	119,901
他会計補助金	230,839	224,061	228,371	232,089	224,039	225,101	225,773	235,885	236,950	239,602	244,805	245,781
その他営業外収益	50,391	42,844	43,055	42,739	44,108	47,474	51,390	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000
収益的支出	1,071,743	1,057,059	1,008,994	988,656	994,626	938,974	951,415	1,017,256	1,009,643	1,061,686	1,106,313	1,180,420
人件費	186,972	184,905	182,959	162,007	175,220	159,739	157,290	163,000	159,307	160,104	160,904	161,709
維持管理費	319,096	316,871	283,214	290,776	304,572	279,418	294,043	326,621	303,538	296,267	297,937	294,842
支払利息	68,888	64,412	59,907	56,079	53,005	51,337	56,179	77,130	84,497	109,327	135,180	161,833
減価償却費	449,157	455,305	459,765	459,891	444,281	435,248	431,630	438,726	447,163	483,072	496,924	547,922
資産減耗費	46,198	34,251	21,319	18,432	14,974	11,299	9,945	10,279	13,638	11,416	13,868	12,614
その他	1,432	1,315	1,830	1,471	2,574	1,933	2,328	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
特別利益						2,266	98					
特別損失												
利益または損失	52,500	34,935	68,587	73,629	47,241	92,716	61,804	0	0	-56,429	-104,865	-178,533
繰越利益剰余金	543,596	578,531	647,118	720,747	767,988	860,704	922,508	922,508	922,508	866,079	761,214	582,681
資本的収入	366,230	368,478	381,553	393,478	436,362	713,768	1,389,556	660,314	2,089,641	866,763	1,031,961	952,389
企業債	236,500	229,000	251,000	238,100	313,600	572,600	1,258,200	533,000	1,952,600	743,300	799,200	679,900
他会計出資金	89,827	97,984	115,514	118,224	116,628	118,825	115,706	115,940	112,361	106,141	129,211	138,227
他会計負担金	860	0	0	6,630	4,848	10,012	6,135	11,374	15,880	14,022	9,503	5,507
その他	39,043	41,494	15,039	30,524	1,286	12,331	9,515	8,800	8,800	3,300	94,047	128,755
資本的支出	637,223	620,127	600,573	652,540	758,028	1,075,637	1,690,409	1,026,673	2,456,040	1,602,109	1,812,731	1,609,866
建設改良費	382,525	348,780	288,402	329,690	431,747	742,655	1,364,850	670,900	2,087,559	1,241,162	1,386,689	1,166,081
企業債償還金	254,698	271,347	312,171	322,850	326,281	332,982	325,559	352,773	365,481	357,947	423,042	440,785
その他								3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
資本的収支	-270,993	-251,649	-219,020	-259,062	-321,666	-361,869	-300,853	-366,359	-366,399	-735,346	-780,770	-657,477
収支不足補填額	270,993	251,649	219,020	259,062	321,666	361,869	300,853	366,359	366,399	735,346	780,770	657,477
補填財源不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債未償還残高	4,413,481	4,371,134	4,309,963	4,225,213	4,212,532	4,452,150	5,384,791	5,565,018	7,152,137	7,537,490	7,913,648	8,152,763

経営比較分析表(令和6年度決算)

山口県
萩市

業 務 名 …… 法適用
業 種 名 …… 水道事業
事 業 名 …… 未開給水事業

資金不足比率(%) …… -
自己資本構成比率(%) …… 54.55
普及率(%) …… 93.54

類似団体区分 …… A5
管理者の情報 …… 非設置
1か月20m²当たり家庭料金(円) …… 2,233
人口密度(人/km²) …… 59.63

現在給水人口(人) …… 41,637
給水区域面積(km²) …… 113.28
給水人口密度(人/km²) …… 339.20

分 析

1. 経営の健全性・効率性について

萩市の上水道事業は、昭和11年に創設、昭和36年に地方公営企業法の適用を受け、平成29年4月1日に簡易水道事業等を全て経営統合し、全市域の上水道事業を一つの上水道事業として経営している。

経常収支比率は100%を上回っており、経営状況は健全な水準を保っている。

流動比率は、理想比率200%以上とされており、短期債務に対する支払能力は安定している。企業債務高対給水収益比率は、経営統合及び大規模整備事業の実施に伴い企業債務高が増加したため、平均値を上回っている。比率の増加を抑制するため、適正な料金水準や企業債借入額の圧縮等を検討する必要がある。

料金回収率は、総務省通知に基づく繰出基準及び市財政課との協議による補助金等の収入があるため、平均値より低い数値となっている。給水原価は、建設改良事業費の増加に伴う企業債利率の増加及び委託料等の経常費用の増加の影響により、前年度を上回った。

有収率は、管路の経年化に伴い減少傾向となっている。引き続き、経年管路の更新や漏水調査による早期漏水箇所の特定を行い、有収率の向上を図るとともに経営の健全化に努める。

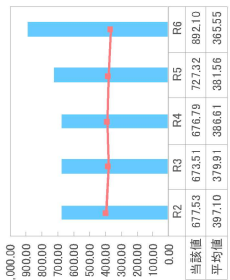
有形固定資産減価償却率が平均値より高く、増加傾向にあることから、更新時期を迎えている施設が増加していると認識される。管路経年化率は、平均値とほぼ同様の推移をしているが、管路更新率が平均値を下回っている。

老朽施設の解消を図るため、施設整備計画である「水道事業ビジョン」に基づき、耐用年数を経過した水道管路及び施設を計画的に更新し、水道水の安定供給と有収率の向上を図る。

全体総括
萩市の上水道事業は、適正な料金収入の確保や経営の刷新に努めているが、萩市や中山間地域からの課入を多く抱えていることから、一般会計からの繰入を必要とする状況にある。

また、経営状況は健全な水準を保っているものの、近年の物価高騰の影響や老朽施設の更新等の実施に伴う大規模な支出が見込まれる。このような中、水道水の安定供給と経営の健全化を図るため、これまでの事業効果を検証しながら、中長期的な施設整備計画である「水道事業ビジョン」の見直しを行っていく。

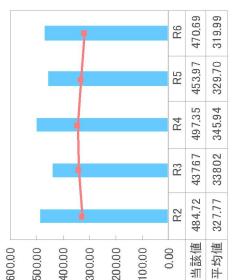
④ 企業債残高対給水収益比率 (%) [264.86]



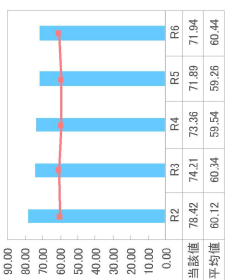
⑧ 有収率 (%) [89.92]



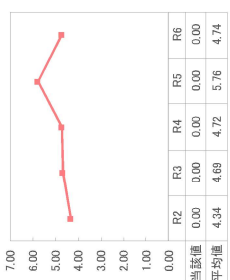
③ 流動比率 (%) [239.69]



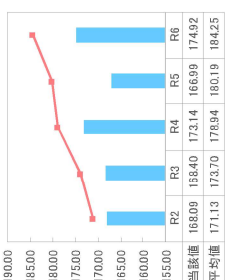
⑦ 施設利用率 (%) [60.27]



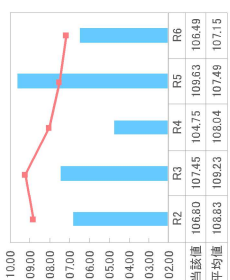
② 累積欠損金比率 (%) [1.61]



⑥ 給水原価(円) [167.11]



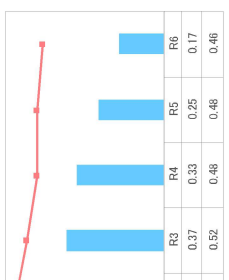
① 経常収支比率 (%) [107.26]



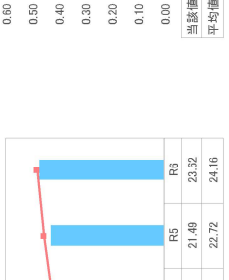
⑤ 料金回収率 (%) [103.91]



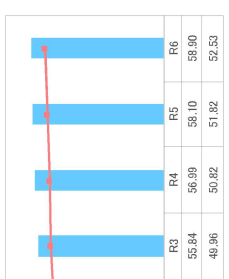
③ 管路更新率 (%) [0.59]



② 管路経年化率 (%) [26.78]



① 有形固定資産減価償却率 (%) [52.41]



2. 老朽化の状況

フォローアップ

「萩市水道事業ビジョン」は、令和2年度から令和11年度までの10年間の計画です。今回、ビジョン策定から5年が経過し、目標や実施方策の達成状況の進捗管理を行いました。今後も次期ビジョンの改定に向けて、計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）といったPDCAサイクルを用いて目標達成できるよう、必要に応じた計画の見直しを行いながら、事業を推進していきます。



- P**LAN (計画)：あるべき将来像を定めた水道事業ビジョンの策定
- D**O (実行)：計画に沿った事業の実施
- C**HECK (評価)：事業が計画に沿ったものとなっているかの確認
- A**CTION (改善)：事業の実施が計画に沿っていない部分の改善

おわりに

今回の「萩市水道事業ビジョン」の中間評価にあたり、現行の水道事業ビジョンのフォローアップを行い、進捗管理と評価、計画の見直しを行いました。

萩市水道事業の現状は、今後加速していく人口減少に伴い、給水収益の減少が見込まれています。また、老朽化した管路や施設の更新等を控えており、経営は現在より厳しいものになることが予測されています。

経営においては、効率化やコスト縮減に引き続き取り組み、健全な経営を行うために、適正な時期に水道料金の水準について検討を行っていく予定です。

最後に、各施策目標を達成するよう努力し、

～安心・安全な萩の水をいつまでも～

という基本理念のもとに長期将来を見据えて、よりよい水道を目指していきます。



